

## 危険物取扱者 [乙種・性消 (第4類危険物) ・正誤(2)]

---

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第4類の危険物で水溶性のものは、水で薄めると引火点が低くなる。 【 】
- (2) 軽油の火災に、水溶性液体用泡消火剤以外の泡消火剤は適切である。 【 】
- (3) 第4類の危険物を取り扱う際は、絶縁性の高い服装を着用する。 【 】
- (4) 特殊引火物には、発火点が100℃を超えるものはない。 【 】
- (5) 酸化プロピレンは重合しやすい。 【 】
- (6) ガソリンは自然発火しやすい。 【 】
- (7) ベンゼンは揮発性がある。 【 】
- (8) 第4類のアルコール類は無色無臭の液体である。 【 】
- (9) 灯油は電気の導体である。 【 】
- (10) クロロベンゼンは特異な臭いを有する。 【 】
- (11) 酢酸は強い腐食性がある有機酸である。 【 】
- (12) 重油は水に溶けない。 【 】
- (13) クレオソート油は黒色または濃黄褐色の粘ちゅう性の油状液体である。 【 】
- (14) グリセリンの引火点は常温より高い。 【 】
- (15) 第4石油類は潤滑油や可塑剤として使用されるものが多い。 【 】

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第4類危険物)・正誤(2)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第4類の危険物で水溶性のものは、水で薄めると引火点が低くなる。  
水で薄めると引火点が高くなる。 【×】
- (2) 軽油の火災に、水溶性液体用泡消火剤以外の泡消火剤は適切である。  
非水溶性であるため、適切である。 【○】
- (3) 第4類の危険物を取り扱う際は、絶縁性の高い服装を着用する。  
静電気が蓄積するため、絶縁性の高い服装は不適切。 【×】
- (4) 特殊引火物には、発火点が100℃を超えるものはない。  
二硫化炭素の発火点は90℃。その他は100℃を超える。 【×】
- (5) 酸化プロピレンは重合しやすい。  
重合しやすい。 【○】
- (6) ガソリンは自然発火しやすい。  
自然発火はしない。 【×】
- (7) ベンゼンは揮発性がある。  
揮発性がある。 【○】
- (8) 第4類のアルコール類は無色無臭の液体である。  
無色であるが、芳香を有するものがある。 【×】
- (9) 灯油は電気の導体である。  
電気の不導体である。 【×】
- (10) クロロベンゼンは特異な臭いを有する。  
特異な臭いを有する。 【○】
- (11) 酢酸は強い腐食性がある有機酸である。  
強い腐食性がある有機酸である。 【○】
- (12) 重油は水に溶けない。  
水に溶けない。 【○】
- (13) クレオソート油は黒色または濃黄褐色の粘ちゅう性の油状液体である。  
黒色または濃黄褐色の粘ちゅう性の油状液体である。 【○】
- (14) グリセリンの引火点は常温より高い。  
引火点は160から199℃で、常温より高い。 【○】
- (15) 第4石油類は潤滑油や可塑剤として使用されるものが多い。  
潤滑油や可塑剤として使用されるものが多い。 【○】